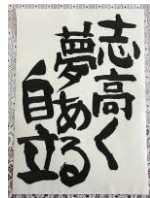


葦原



校訓

本多豊國氏 筆

浦安市立堀江中学校
学校だより（あしはら）
1月号
令和6年1月12日



“躍動”し“上昇”する年に・・・今年もよろしくお願いたします

旧年中は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。
本年も、どうぞよろしくお願いたします。

新年早々に、能登半島地震、羽田空港での航空機衝突事故、北九州市小倉商店街での火災などが続いて起こりました。尊い命を失われた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された方々に心より お見舞い申し上げます。

このような年明けでしたが、私たちは、穏やかに3学期の始業式を迎えることができました。
1月9日（火）の朝、元気に登校して来る生徒の姿や始業式で体育館に集まった全校生徒の顔を見ることができて、ととても嬉しい気持ちになりました。自分で立てた新年の目標の達成に向けて力強く進んでいってほしいなと思いました。

始業式では、3学期のスタートにあたり、2つの話をしました。

1つ目は、年の初めに起こってしまった災害や事故についてです。

このような大きな災害や事故が発生してしまった中で、こうしてここにいる私たちは、被災した現地の方々や事故に遭われた方々に対して直接できることは何もありません・・・それでも、私たち堀江中学校ができることは何かと考えたときに思い浮かんだことは、

「地震や事故によって亡くなられた方々のご冥福をお祈りすること」

「安否不明者の早期発見と無事を祈ること」

「少しでも早く復旧作業が進み、被災者の皆様が安心して暮らせるようになることを願い祈ること」

・・・これが、私たちが一番にできることだと考えました。

目に見えるものでもなく、形のあるものでもありませんが、私たちの心を届けられたらいいと思い、堀江中の体育館で黙祷をしました・・・決して強制はしませんでした。全校生徒並びに教職員一同が、気持ちを一つにして行動『黙祷』し、心を届けました。

災害からの復興や事故からの回復に向けて、まだまだ長い年月がかかると思いますが、これから先、私たちにできることは何か？と更に考えたところ、まずは、「自分自身が“備える”こと」そして、「自分ができることをする」ということしかないと思いました・・・そこで、生徒たちに『“自分自身が備えること”って何をすればよいのか？“自分ができること”って何なのかな？と考えると、ぜひ、行動を起こしてください。』と伝えました。

2つ目の話は、3学期を過ごす上で各学年の生徒たちに頑張ってもらいたいことを話しました。

1年生には、『学年のみんなともっともっと仲良くなって、思いやりにあふれる格好いい先輩になる準備をしっかりとしてほしい！間違っても、心ない行動や発言によって心を痛める人が一人もない3学期にしてください。』と伝えました。

2年生には、『堀中のリーダーとしての自覚をもって、学年集団の力を高めてほしい！日本一の学年集団になることを本気で目指してください！！』と伝えました。

3年生には、『自分の進路に向けて努力することと、学級や学年のみんなの進路が決まるまで応援し合うこと。そして、卒業するまで後輩たちの憧れの存在でいてほしいです。』と伝えました。

そして最後に、すべての学年に共通することとして、『学級目標と学年目標を必ず達成するようにと！』と伝えました。目標達成に向けて、誰が、何を、どのようにしていくのか、自分がすべきことは何かということを考え、仲間や教職員と相談しながら実行し、今年度1年間の成果をともに実感してほしいと願っています。そして、子どもたちが“躍動”し“上昇”していく姿がたくさん見られることを期待しています。

保護者の皆様には、今後とも教育活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。



合格祈願☆亀神社 2024 開設

3学期のスタートとともに、今年も“亀神社”が開設されました。神主の 大森雅人 先生が昨年度末に異動されたので、今年度は科学部員の選抜メンバーが設置してくれました。

これまで、数多くの堀中生を見守り、力を与え、ともに進路の実現を目指してきた亀神社です。今年も、3年生のみんなが無事に受検を終えて希望する進路へと進めますよう、毎日、合格祈願を続けます。

亀神社は、堀中1階の亀の水槽です。

保護者の皆様も、ご来校の際は、合格祈願をされていってはいかがでしょうか。

1月17日（水）から、県内私立高校の入試が本格的にスタートします！「頑張れ☆3年生」

